



健脚に行きます！

今年度は4月から健脚が実施でき、いつもは行けない、少し遠くへ出かけています。日常の遊び、生活の中で身についた歩く力で長い距離を歩きつつ、交通ルールを守って楽しい散歩をします。

小さいクラスの子も友だちとしっかり手をつないで歩きます。



5月



- 7日 内科検診
- 12日 避難訓練
- 15日 親子親睦会・クラス懇談
- 21日 誕生会
- 24日～28日 個別懇談
- 28日 健脚活動②

ちょっぴり アレンジレシピ



お家での残り物を簡単に、給食の味にアレンジできるレシピを紹介します！

夕食のポテトサラダが残ってしまった…そんな時は、

- ① かつお節②しょうゆ③梅干し

この3つの食材を入れるだけで、人気メニューの『和風ポテトサラダ』に変身します！ぜひお家で試してみてください！

※味が濃くなってしまいますので、一緒に何か具材を足してくださいね。



6月



- 10日～11日 お招き会
- 15日 避難訓練
- 18日 誕生会
- 24日 歯科検診

ちょっと 教えて！

『はだしでの保育について』

なぜ、上履きを履かずにはだしで過ごすのか？気になる方もいらっしゃると思います。今回は『なぜはだしでの保育なの？』というテーマでお伝えします。

はだしで生活するメリットとしてあげられるのが、まず「土踏ますの形成」です。寝る時以外ほとんど靴下を履いている生活習慣が原因で、子どもたちの土踏ますの発達が遅れている、と考えられています。土踏ますがないと極めて非効率的な歩き方になってしまい、すぐ疲れてしまったり、体の他の部位がどんどん成長していく中で、足の骨格だけが生まれた時とほぼ同じ状態になってしまうので、体全体に悪影響を与えます。

次に「足の裏は第二の心臓」と言われています。足の裏から、いろいろな刺激を受けることでより繊細になります。すると、子どもたちは地面の滑りやすさや斜面などを感じ取り、転びにくくなります。地面の凸凹や温かさ冷たさ。五感を感じることができるのも、はだしでの保育のメリットです。

引用：保育ぷらす+

いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.50



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。

<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

こどもの自己決定

園庭の花壇やプランターで咲き誇っているパンジーのほとんどは、いちょうの森こども園で種から育てた花です。子どもたちは「きれい」とうれしそうに眺めています。今年も計画していますので、ぜひ一緒に挑戦してみませんか。

さて、今年度の園の取り組みで「こどもの自己決定権についての見直し、年齢なりの意思の表現や選択を尊重した教育・保育の実践に努めます」があがっています。こどもの自己決定とはどんなことなのでしょう。

例えば、ズボンをはくようになった頃に、「どっちをはく？」と2つ並べて、はくズボンをこどもが決める。「お昼ごはんまではもう少し時間があるけど、ご飯を食べる？もう少し遊ぶ？」と投げかけてみる、など年齢に応じて、こども自身が決めることです。そして、そんな場面を増やしていき、その体験を積み重ねることが大切です。子どもたちは、体験したことを基に、次々と応用をするようになります。もちろん、なんでも自由ではなく、“集団生活の中で”が原則です。

大人は「はい、これ履いて」「〇〇して」と、して欲しいことを意識はしていませんが、命令(指示)口調になりがちです。指示されると、こどもは考えなくてもいいので、受け身の状態になりがちです。いわゆる、言われないとしない子です。逆に「どれ履くのかな？」「次はなにをするのかな？」と問われると、考えます。この、考えることが重要で、積極的姿勢の子につながると言われています。

園の生活やあそびの中で投げかけている言葉をより意識し、子どもたちの内面を見つめながら園生活を進めていきます。ご家庭でも振り返っていただき、ご意見をお聞かせいただければありがたいです。

原谷 雅彦



ブルーベリーの木に花が咲きました。実ができることを心待ちにしています。



新入園児さんも笑顔が増えました。

令和3年5月6日 発行

いちょうの森こども園 園だより

桜が丘東3-3-496

TEL 086 (956) 2022

FAX 086 (956) 2023



お気に入りの場所は…ここ！

そらくみ

そら組の部屋にあるアトリエコーナーでは、廃材で作品を作り上げたり、作ったものでごっこあそびをしたりすることに夢中になっています。作ったものを見せ合ったり交換したりすることも楽しみの一つ。これからどんな大作ができるか楽しみです。



にしぐみ

ダンゴムシやちょうちょ、テントウムシなど園庭に春の生き物がたくさん見られるようになり、虫とりに夢中のこどもたちです。花壇付近は特に虫が集まりやすく、園庭に出ると一目散に花壇に向かって行きます。



ほしぐみ

ほし組は泥団子作りブーム到来です。園庭でわた組の前の土は、泥団子づくりにとって打って付けの、サラサラの土の宝庫です。そのため、人気の場所で、みんな黙々と、丸くてツルツルで落としても壊れない、固い泥団子作りを楽しんでいます。



ゆきぐみ

天気のいい日にはウッドデッキに出て、日光浴をしたり風を感じたりして過ごしています。ごろんと寝転ぶといい気持ち。時々、大きいクラスの友だちが覗きに来て「いない いない ばあ」と遊ぶのも楽しいようです。

つきぐみ

つき組になり、はんとう棒ジムが使えるようになりました。“大人と一緒に”の約束を守り、毎日「一緒にはんとう棒ジムしよう」と誘いに来ます。気づけば、はんとう棒ジムがつき組さんでいっぱい！なんてことも珍しくありません。



はなぐみ

晴れてとても気持ちのいい日には、外で散歩車に乗っています。花壇の前に止まると微笑んだり、少し指をさしてみたりして楽しんでいます。うたを歌うと屈伸のような動きをして、リズムに合わせて遊ぶのも楽しみたいです。

